

令和7年度

教育に関する事務の点検・評価報告書

〔令和6年度事業対象〕

佐野市教育委員会

はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され（平成20年4月1日施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとなりました。

これを受けて、佐野市教育委員会では、効果的で効率的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民に対する説明責任を果たすことを目的に、学識経験者の知見をいただきながら、佐野市総合計画及び佐野市教育振興基本計画で掲げた成果指標を踏まえ、令和6年度実施事業の点検・評価を行い、報告書を作成しましたので公表します。

令和7年9月
佐野市教育委員会

（参考）

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条（一部省略）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○佐野市教育振興基本計画

第2次佐野市総合計画中期基本計画の策定に際し、本市教育行政の目指すべき方向性とその実現に向けた取組を明らかにすることを目的に、その教育分野の個別計画として策定しました。

計画期間は総合計画中期基本計画と同様に令和4年度から令和7年度までであり、基本的方向の進捗状況と各施策の成果を図る基準として、成果指標及び計画終了年度に達成すべき目標値を設定しています。

目 次

1	点検・評価の対象及び方法	1
2	教育委員会事務局組織・機構図	2
3	教育委員会活動	3

4 教育振興基本計画に基づく成果指標達成状況と事業別考察

基本的方向1	特色ある教育と心の教育の推進	5
施策1	確かな学力の育成に向けた教育の充実	
施策2	豊かな心の育成に向けた教育の充実	
施策3	健やかな体の育成に向けた教育の充実	
施策4	グローバル化に対応する教育の充実	
施策5	多様な教育的ニーズに対応した教育の推進	
施策6	連続性・一貫性のある教育の推進	
施策7	主体的に社会に関わる力の育成に向けた教育の推進	
施策8	科学技術の基盤となる教育の推進	
施策9	教職員の資質・能力の向上	

基本的方向2	安全・安心で良好な教育環境の整備	14
施策10	市立学校の適正規模・適正配置の推進	
施策11	安全・安心で快適な学校施設の整備	
施策12	安全を守り、学びを保障する取組の推進	
施策13	教育の情報化の推進と情報セキュリティの確保	
施策14	学びのセーフティーネットの構築と充実	
施策15	教職員がいきいきと教育活動に取り組める環境づくり	

基本的方向3	教育を支える地域づくりの推進	20
施策16	「地域とともにある学校づくり」への体制整備の推進	
施策17	地域との連携・協働のための取組の推進	
施策18	家庭教育支援の推進	

基本的方向4	生活を豊かにする生涯学習の推進	24
施策19	生涯学習の情報や機会の提供	
施策20	生涯学習の成果を活かす取組の充実	
施策21	青少年の健全育成の推進	

基本的方向5 スポーツへの参画の推進と次世代アスリートの育成 29

施策22 生涯スポーツの基礎づくりの推進

施策23 次世代アスリートの育成の推進

基本的方向6 文化芸術活動の推進 29

施策24 文化芸術に触れる機会の充実

施策25 文化資源の有効活用

施策26 文化芸術施設の基盤強化

基本的方向7 歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用 30

施策27 歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承・活用

施策28 歴史・文化資源や豊かな自然への理解の促進と人材育成

その他事業 37

5 全体を通しての意見 42

1 点検・評価の対象及び方法

(1) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会事務局各課が実施した全ての事務事業とした。

(2) 点検・評価の方法

学識経験者の知見の活用を図るために、事務事業評価委員からの意見をいただいた。

令和6年度に佐野市教育委員会が実施した事務事業から、評価委員が選択した事業について、各課が考察した。

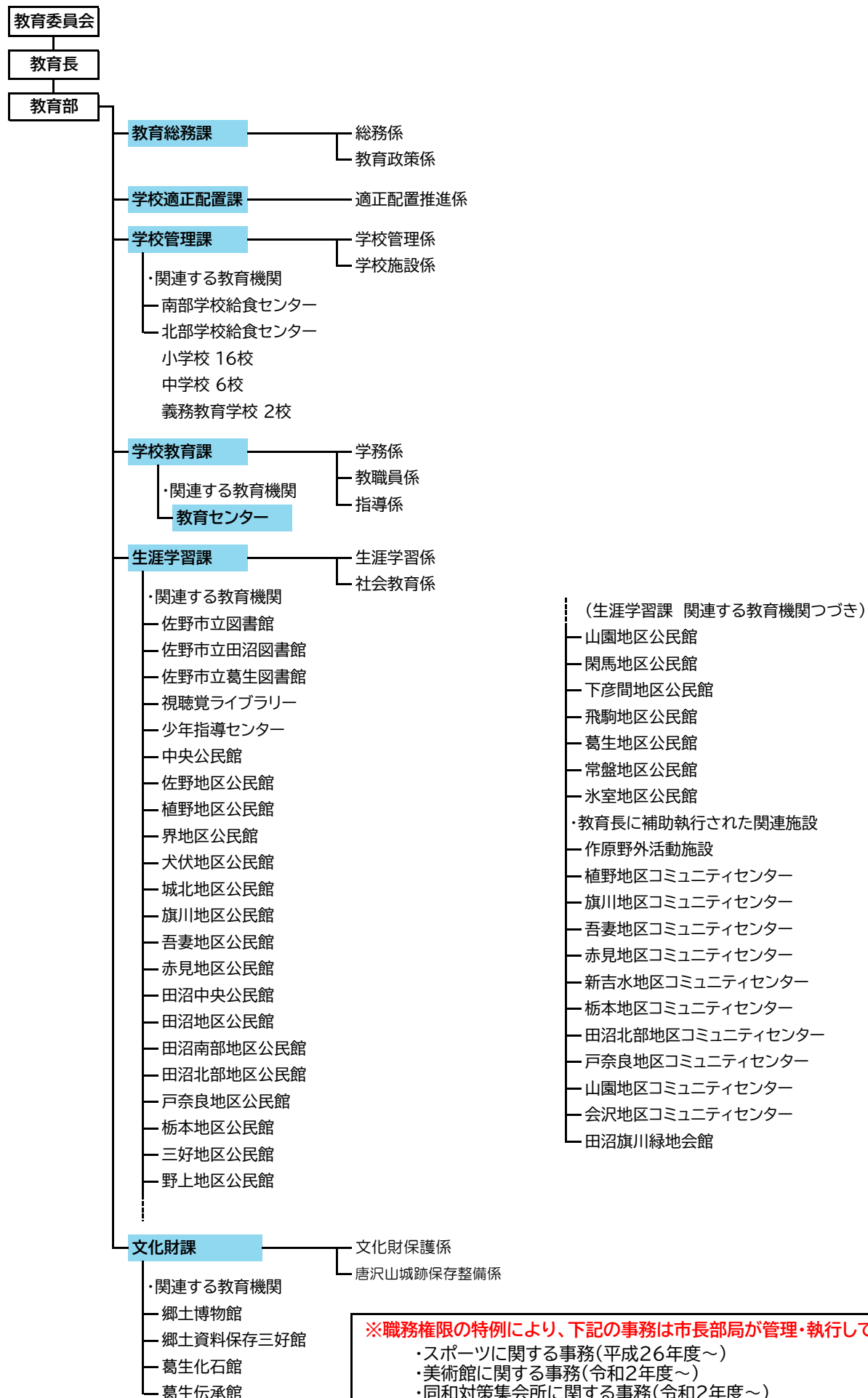
委員の方は次のとおりである。

(敬称略)

氏 名	経歴等
片柳 岳巳	元佐野市教育委員会委員
菅原 克己	元佐野市職員、元佐野市社会教育委員
川俣はるみ	元佐野市立旗川小学校教頭

2 教育委員会事務局組織・機構図

令和6年度 教育委員会事務局組織及び教育機関・補助執行された施設



3 教育委員会活動

1 組織

・教育長1名、教育委員4名

職 名	氏 名	初就任年月日
教育長	津布久 貞 夫	令和2年5月19日 (令和2年5月19日教育長就任)
委 員 (教育長職務代理者)	内 田 圭 子	平成24年5月19日(令和6年5月18日退任) (令和5年5月19日教育長職務代理者就任)
委 員 (教育長職務代理者)	駒 形 忠 晴	平成28年4月1日 (令和6年5月19日教育長職務代理者就任)
委 員	伊 藤 弘 教	令和2年11月1日
委 員	茂 木 郁 夫	令和5年5月19日
委 員	浦 野 祐 子	令和6年5月19日

2 教育委員会の活動状況

(1) 委員会の開催

定 例 会 臨時会の別	開催回数	付議事件件数	
		議 案	報 告
定 例 会	12	50	14
臨 時 会	1	2	0

(2) 研修会等

事業名	期 日	場 所	内 容
安足地区市町村教育委員会 連合会教育委員研修会	令和6年 8月21日(水)	足利市立美術館	展覧会「生誕100年 相田みつを—いのちを 見つめることば—」鑑賞
		史跡足利学校遺跡 図書館	企画展「相田みつを と 足利学校」鑑賞
栃木県市町村教育委員会 連合会研修会	令和6年 11月20日 (水)	栃木県庁研修館 講堂	「東日本大震災及び原発 事故からの教育復興」 福島県双葉町教育委員会 教育長 舘下明夫氏

佐野市教育委員会委員 視察研修	令和7年 1月15日(水)	那須塩原市立 箒根学園	施設の概要(特色、ZEB 化の状況)、義務教育学校 の効果と課題(学校運営、 学習面・生活面)、開校後 の保護者や地域の反応
		那須塩原市図書館 みるる	施設の概要、図書館運 営・施設管理の効果と課 題、利用者の評判、地域 との連携

(3) その他

学校訪問

	訪問日	訪 問 校
1	令和6年6月18日	出流原小学校、田沼小学校、吉水小学校
2	令和6年6月27日	栃本小学校、多田小学校、西中学校
3	令和6年10月8日	石塚小学校、赤見小学校、みんなのまなびばマイルーム
4	令和6年11月19日	旗川小学校、吾妻小学校、みんなのまなびばアクティヴ
5	令和7年2月26日	犬伏小学校、城北小学校、北中学校

その他、二十歳のつどい、小中義務教育学校卒業式への出席

4 教育振興基本計画に基づく成果指標達成状況と事業別考察

佐野市総合計画及び佐野市教育振興基本計画で掲げた成果指標を踏まえ、成果指標達成状況の確認と事業別考察を行うものです。

計画の期間：令和4年度～令和7年度

※令和7年度欄に記載の数値は目標値

基本的方向1 特色ある教育と心の教育の推進

施策1 確かな学力の育成に向けた教育の充実

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
全国学力・学習状況調査 の全国平均との比較(全 国学力・学習状況調査)	コロナ禍 のため 未実施 R1 -0.5	-1.2	-2.6	-1.1	-1.4	0.8	学校教育課
「学校の授業時間以外に 普段、1日当たりどれく らいの時間、読書をしま すか。」に対する30分以 上の割合(全国学力・学 習状況調査)	コロナ禍 のため 未実施 R1 53.9%	36.7%	32.7%	35.5%	設問 無し	80%	学校教育課

施策2 豊かな心の育成に向けた教育の充実

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
認知したいじめの解消率	66.7%	69.9%	69.6%	62.2%	81.3%	100%	学校教育課
「道徳の授業では自分の 考えを深めたり、学級や グループで話し合ったり する活動に取り組んでい る。」に対する「どちら かといえば当てはまる」 以上の割合(全国学力・ 学習状況調査)	コロナ禍 のため 未実施 R1 87.7%	89.5%	86.7%	88.4%	91.1%	95%	学校教育課
SSWの支援したケース 数	100 ケース	83 ケース	85 ケース	72 ケース	68 ケース	100 ケース	教育センター

施策3 健やかな体の育成に向けた教育の充実

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
新体力テストの平均得点 の全国平均との比較	コロナ禍 のため 未実施 R1 -0.4	-0.7	-0.3	-0.3	-0.4	1.9	学校教育課
「朝食を毎日食べてい る」に対する「あまりし ていない」「全くしてい ない」割合（全国学力・ 学習状況調査）	コロナ禍 のため 未実施 R1 5.0%	7.2%	6.8%	7.9%	8.8%	0%	学校教育課

施策4 グローバル化に対応する教育の充実

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
英検3級程度以上の英語 力を身に付けている生徒 の割合	45%	41.3%	35.2%	41.0%	47.2%	58%	学校教育課
「今までに受けた英語の 授業では、英語で自分自 身の考えや気持ちを伝え 合うことができていた」 に対する「どちらかとい えば当てはまる」以上の 割合（全国学力・学習状 況調査）	コロナ禍 のため 未実施 R1 小6 項目無し 中3 72%	小6 77.9%	設問なし	中3 68.7%	74.7%	100%	学校教育課

施策5 多様な教育的ニーズに対応した教育の推進

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
市が特別支援教育に力を入れていると感じている市民の割合	40.2%	41.1%	43.8%	41.8%	43.0%	45%	教育センター
アクティブ教室（R6からみんなのまなびば）へ通室している児童生徒のうち在籍校に1回以上登校した児童生徒の割合	91.7%	81.3%	89.3%	95.7%	100%	100%	教育センター
日本語指導が必要な児童生徒が日本語教室等で指導を受けている割合	72.3%	71.6%	82.3%	83.0%	81.6%	80%	学校教育課

施策6 連続性・一貫性のある教育の推進

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
教科の接続等について、中学校と連携している小学校の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため未実施 R1 76.9%	85.7%	66.6%	61.1%	55.5%	97%	学校教育課
小中合同の授業研究などの合同研修を実施した学校の割合	65%	66.6%	41.4%	38.2%	100%	70%	学校教育課

施策7 主体的に社会に関わる力の育成に向けた教育の推進

【成果指標】

指標 \ 年度	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
「将来の夢や目標を持っている。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため 未実施 R1 79.3%	75.4%	75.6%	73.5%	73.7%	86%	学校教育課
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（全国学力・学習状況調査）	コロナ禍のため 未実施 R1 56.4%	51.4%	47.4%	—	—	70%	学校教育課
（※R5より設問変更） 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（全国学力・学習状況調査）	—	—	—	72.4%	80.6%	85%	学校教育課

施策8 科学技術の基盤となる教育の推進

【成果指標】

指標 \ 年度	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
「理科や算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている。」に対する「どちらかといえば当てはまる」以上の割合（とちぎっ子学習状況調査）	コロナ禍のため 未実施 R1 71.7%	67.5%	70.3%	68.9%	74.4%	90%	学校教育課
情報教育アドバイザーの学校への訪問回数	387回	454回	417回	403回	331回	300回	教育センター

施策9 教職員の資質・能力の向上

【成果指標】

指標 \ 年度	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
「授業は、自分にあった 教え方、教材、学習時間 になどになっていた。」 に対する「どちらかとい えば当てはまる」以上の 児童の割合（全国学力・ 学習状況調査）	コロナ禍 のため 未実施 R1 項目なし	86.0%	83.0%	84.0%	87.2%	80%	学校教育課
授業に ICT を活用して指 導することが「できる」 「ややできる」と回答し た教職員の割合	63.6%	71.8%	71.4%	75.6%	74.3%	100%	教育センター

基本的方向		1 特色ある教育と心の教育の推進
施策		6 連続性・一貫性のある教育の推進
総合計画政策体系	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	2 安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	2 小中一貫校の推進
事業概要及び実施状況		○事業概要 少子化の進行に伴う複式学級の発生、学校施設の老朽化などの課題解決に向けて、佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画等に基づき、小中一貫校の整備を推進する。 ○実施状況 (1) 計画の策定 城東中学校区以降の小中一貫校整備計画案及び学校施設の維持修繕及び更新等に関する個別具体的な整備計画案を作成した。 <業務委託> ・「小中学校適正規模・適正配置基本計画（後期計画改訂）等策定業務委託」 ・委託先 株式会社ビー・エイチ・シー ・契約期間 令和6年6月6日～令和7年3月17日 (2) 視察受入れ（現地対応分のみ） ・令和6年 5月17日 鹿沼市教育委員会（葛生） ・令和6年 8月27日 埼玉県教職員組合北埼玉支部（あそ野） ・令和6年10月29日 幸手市教育委員会（あそ野・葛生） (3) 先進地視察 ① 栃木県那須塩原市立箒根学園（施設一体型義務教育学校） ・令和6年 8月 8日 9名参加（教育委員会事務局職員ほか） ・令和7年 1月15日 9名参加（教育委員ほか） ② 東京都江東区立有明西学園（施設一体型義務教育学校） ・令和6年10月17日 18名参加 （かえで義務教育学校開校準備委員会委員ほか）
考察		・「佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画策定懇談会」に提出する原案ができた。次年度、懇談会で意見を伺い、計画策定の手続を進める。
委員からの意見		・複式学級のある学校が出てきている。ぜひ事業を進めてほしい。 ・複式学級がある学校について、小中一貫校へ移行するまでの間、学力面への不安や教員不足の課題があるので、サポートがあると良いと思う。

基本的方向		1 特色ある教育と心の教育の推進
施策		4 グローバル化に対応する教育の充実
総合計画政策体系	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	1 特色ある教育と心の教育の推進
	基本事業	1 生きる力の育成
事業概要及び実施状況		○事業概要 次代を担う本市の中学生をニュージーランド・ファンガレイ市に派遣し、異文化体験を通して、英語力やコミュニケーション能力の向上、グローバルな視野と感覚の醸成等を図ることを目的として、本事業を実施した。 ○実施状況 4月9日（火）ファンガレイ男子高校の校長が佐野市を訪問 市長と面会 5月6日（月）～10日（金） ファンガレイ市現地視察（学校教育課長、担当指導主事、国際交流協会通訳で安全性等の確認を実施した。） 6月28日（金）事業の実施主体として市国際交流協会に委託した。 7月29日（月）ファンガレイ市中学生派遣選考面接の実施。 派遣生徒10名選出（男子2名・女子8名） 8月19日（月）派遣オリエンテーション① 9月11日（水）派遣オリエンテーション② 10月2日（水）派遣オリエンテーション③ 10月14（月）壮行会の開催（市役所市民活動スペースで実施） 10月20日（日）～26日（土）ファンガレイ市へ生徒を派遣（ホームステイをしながらファンガレイ男子高校・女子高校で学校生活を過ごす。） 11月9日（土）報告会の開催（市議会議場で実施） 12月 生徒の派遣報告書を印刷製本し、関係各所へ配布した。 2月17日（月）、20日（木） ファンガレイ男子高校と城東中学校でオンライン交流を実施した。
考察		・派遣生徒にとって、異文化に触れ、自分の知らない世界を知り、自身の視野を広げることができた大変貴重な機会となった。また、将来、国際的な仕事への就職や留学を視野に入れるなど生徒のキャリア形成へ影響を与えた。 ・令和6年度は10名の派遣であったが、令和7年度は派遣生徒数を20名に倍増し、一人でも多くの生徒に異文化交流を図ってもらえるように変更することになった。 ・オンライン交流を実施したことで、派遣生徒以外の海外への興味関心を高めることができた。 ・令和7年度は、事業の拡大に当たり、ファンガレイ市中学生交流事業実行委員会を設置し事業を実施することとした。
委員からの意見		・ファンガレイ市は、観光や農業、林業が盛んであるということだが、その一方で、日本では観光や農業、林業に多くの課題がある。子ども達には、日本の課題解決の参考となるようなファンガレイ市の取り組みを学んでもらうと良いと思う。

事業名 不登校児童生徒支援教室運営事業

課名：教育センター

基本的方向		1 特色ある教育と心の教育の推進
施策		5 多様な教育的ニーズに対応した教育の推進
総合計画政策体系	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	1 特色ある教育と心の教育の推進
	基本事業	1 生きる力の育成
事業概要及び実施状況		○事業概要 不登校児童生徒が社会的自立の基礎となる力を身に付けることを目指し、個々に応じた指導・支援を行う不登校児童生徒支援教室「みんなのまなびば アクティヴ・マイルーム」を運営する。 ○実施状況 ・通室した児童生徒：18名 アクティヴ：8名（小学校課程3名、中学校課程5名） 見学・体験（正式通室者除く）15名 マイルーム：10名（小学校課程3名、中学校課程7名） 見学・体験（正式通室者除く）18名 ・勤務する職員 アクティヴ：吾妻小学校教諭2名（月・火1名、水～金1名） 会計年度職員（支援員2名） マイルーム：あそ野学園教諭2名（月～水1名、木・金1名） 会計年度職員（支援員2名、主担当1名、施設担当1名） ・支援員の勤務態様：1日6時間、年間203日の勤務 ・活動内容：教科学習、読書、1人1台端末を使ったりリモート授業、イラスト制作、パズル等の個別の活動 カードゲーム、運動、農園活動などの協働活動 調理実習、ハイキング、茶の湯体験等の体験活動（不定期） ・開室時間：9時～16時
考察		・見学、体験、通室については、学校と教育センター担当者及びスクールソーシャルワーカーが連携して児童生徒や保護者のニーズを把握し、子に応じた支援に努めた。 ・保護者が学校と通さずに見学の申込ができるよう、Webフォームでの申込ができるようにした。 ・今後も学校、学級担任等との連携を図りながら、児童生徒一人一人に寄り添った新体制の充実に努めていきたい。
委員からの意見		・不登校の原因は様々なので、今後も努力してほしい。 ・学校に復帰することだけでなく、進学などのアドバイスや社会に出られるようなサポートを引き続きお願いしたい。

基本的方向		1 特色ある教育と心の教育の推進
施策		2 豊かな心の育成に向けた教育の充実 5 多様な教育的ニーズに対応した教育の推進
総合計画政策体系	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	2 地域とともに学び育てるまちづくり
	施策	2 教育を支える地域づくりの推進
	基本事業	1 いじめ問題に対する学校・家庭・地域の連携
事業概要及び実施状況		○事業概要 幼児及び児童生徒の心身の健全な育成を図るため、教育上の問題や悩みをもつ児童生徒・保護者等を対象に相談支援を行う。 ○実施状況 ・電話相談・来所相談：166件（電話：92件、来所：74件） ・臨床心理士による巡回相談：延べ251回 ・スクールソーシャルワーカー（SSW）の派遣：68ケース ・相談啓発チラシの配布（年3回）：市内認定こども園・保育園の全園児、市立小中義務教育学校の全児童生徒あてに配付 ・「広報さの」での相談案内（毎月） ・不登校支援フォーラムの実施（年4回）：講話等、グループシェア ①6/22 「登校・登園に不安のある子どもへの対応」柳川悦子氏：32名参加 ②9/20 「不登校支援に関する地域資源」教育センターSSW：17名参加 ③12/13 「不登校経験者の話」高校生・大学生の2名：21名参加 ④2/13 「子どもの気持ち 保護者の気持ち 調査を通じて見えてきたこと」 栃木県教育委員会教育政策課担当者：24名参加 ・学校への登校に不安や悩みのある児童生徒向け企画「みんなのがくや」の実施（年9回） ①5/24 運動・ボードゲーム：7名参加 ②6/18 みかも山ハイキング→雨天のため運動とゲームに変更：4名参加 ③7/16 サノタン ミニオープンキャンパス：10名参加 ④8/27 夏祭り（児童生徒企画）：11名参加 ⑤9/27 ザリガニ釣り：10名参加 ⑥11/29 グランドゴルフ&モルック：5名参加 ⑦12/24 お楽しみ会&運動：8名参加 ⑧1/27 フラワーアレンジメント：9名参加 ⑨2/26 栃木県子ども科学館出前講座：10名参加
考察		・相談は保護者からのものがほとんどで、内容が複雑化し、解決まで時間がかかる困難な事例が増加している。 ・家庭訪問等、不登校支援のためのアウトリーチを充実していきたい。
委員からの意見		・相談相手がいないなど、教育相談に頼るしかない方もいることと思う。相談先として頑張ってほしい。

基本的方向2 安全・安心で良好な教育環境の整備

施策10 市立学校の適正規模・適正配置の推進

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
計画に対する設置された義務教育学校の割合	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	22.2%	学校適正配置課

施策11 安全・安心で快適な学校施設の整備

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
施設の瑕疵による事故件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	学校管理課
修繕依頼のあった学校施設の修繕が完了した割合	71.0%	82.0%	83.4%	85.0%	83.5%	100%	学校管理課

施策12 安全を守り、学びを保障する取組の推進

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
交通安全に関する通学路危険箇所の改善率	69.2%	73.4%	75.6%	75.8%	85.9%	80%	教育総務課
応急手当普及員全校配置達成率	93.1%	93.1%	93.1%	100%	100%	100%	学校教育課
給食センター起因による異物混入件数※年間200日、1日約8,000食の給食提供のうち	39件	31件	33件	11件	7件	0件	学校管理課

施策13 教育の情報化の推進と情報セキュリティの確保

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
「ICT機器を、意見を交換したり、調べたりするために使用している」と答えた児童生徒の割合	22.0%	41.3%	設問なし	設問なし	設問なし	100%	学校教育課

施策１４ 学びのセーフティーネットの構築と充実

【成果指標】

年度 指標	令和２ (2020)	令和３ (2021)	令和４ (2022)	令和５ (2023)	令和６ (2024)	令和７ (2025)	主管課
進学に伴う経済的な不安が解消される。(市奨学金制度の利用率)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	教育総務課

施策１５ 教職員がいきいきと教育活動に取り組める環境づくり

【成果指標】

年度 指標	令和２ (2020)	令和３ (2021)	令和４ (2022)	令和５ (2023)	令和６ (2024)	令和７ (2025)	主管課
ストレスチェック「健康リスク」の総合ポイント (全国平均を100として比較)	79.2	77.9	82.5	84.7	80.6	75 以内	学校教育課
平均の退勤時刻	18:32	18:33	18:24	18:24	18:19	18:20	学校教育課
時間外在校等時間の平均	49 時間 25 分	49 時間 30 分	45 時間 29 分	43 時間 38 分	42 時間 8 分	45 時間 以内	学校教育課

基本的方向		2 安全・安心で良好な教育環境の整備
施策		10 市立学校の適正規模・適正配置の推進
総合計画政策体系	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	2 安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	2 小中一貫校の推進
事業概要及び実施状況		○事業概要 小中学校における、複式学級の解消・回避、通学区域の見直し及び学校施設老朽化の対策など、教育環境の整備を図るため、市立学校の適正規模・適正配置を推進する。 佐野市立小中学校適正規模・適正配置基本計画等に基づき、佐野市立城東中学校区小中一貫校（施設一体型義務教育学校）の整備を進める。 ○実施状況 （１）基本構想の策定及び事業手法の決定 城東中学校区小中一貫校整備事業基本構想を策定した。また、民間活力導入可能性調査を行い、事業手法は設計施工維持管理一括発注方式、開校年月は令和１３年４月が有力とする報告書を作成した。 <庁内会議> ・城東中学校区小中一貫校施設整備検討委員会 ２回開催 ・城東中学校区小中一貫校整備事業関係課長会議 ２回開催 <業務委託> ・「城東中学校区基本構想策定及び民間活力導入可能性調査業務委託」 ・委託先 株式会社 あしぎん総合研究所 ・契約期間 令和６年７月２５日～令和７年３月２４日 （２）拠点校である佐野小学校に係る調査の実施 ・城東中学校区小中一貫校整備に伴う用地測量等調査 ・城東中学校区小中一貫校整備に係る地質調査 ・佐野市立佐野小学校アスベスト含有分析調査
考察		・城東中学校区小中一貫校整備事業の事業手法を設計施工維持管理一括発注方式に決定した。 ・次年度の整備事業者選定事務の着手に繋げることができた。
委員からの意見		・より良い教育環境と、小中一貫教育の推進を図るために、計画的に着実に一貫校の整備を進めていただきたい。

基本的方向		2 安全・安心で良好な教育環境の整備
施策		11 安全・安心で快適な学校施設の整備
総合計画政策体系	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	2 安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	1 安全で快適な学校施設の整備
事業概要及び実施状況		○事業概要 エアコンが未設置である学校等の屋内運動場及び特別教室への空調設備設置に向け、環境性能やライフサイクルコスト等を考慮した空調方式の選定及び屋内運動場へのエアコン設置に向けた事業方式についての検討業務を行う。 ○実施状況 佐野市立小中学校等空調設備設置に係る整備手法検討支援業務委託 委託業者：明豊ファシリティークス(株) 空調設備整備に関する検討会議 9回開催 内容 ・今後の統廃合や環境性能等を考慮した特別教室・屋内運動場へ設置する最適な空調方式選定のため、CO₂排出量、災害時対応等も考慮した空調方式（電気式、ガス式、自立型等）ごとの比較検討を実施した。 ・屋内運動場の断熱化の有無によるライフサイクルコストの比較検討を行った。 ・屋内運動場へ令和8年度中にエアコン設置を完了するため、従来方式・DB方式・PFI方式等の事業方式について、品質、地域活性化、設置スケジュール、事業費等を勘案した比較検討を行った。
考察		・学校の空調設備設置に多くの実績を持つ民間事業者へ、学校の空調設備整備の検討業務を委託することで、他の自治体における実績に基づくデータ分析や多角的にシミュレーションを行い、学校ごとに最適な空調方式の選定及び早期完成が見込める事業方式であるDB方式（設計・施工一括発注方式）を採用することとなった。また、屋内運動場の断熱改修の有無による費用対効果や整備期間を踏まえた比較検討を行った結果、エアコン設置と断熱改修工事の同時施工は実施せず、エアコン設置のみを実施することとなった。
委員からの意見		・成長期の子ども達が熱中症にならないように、空調設備の充実や健康管理に努めてほしい。 ・猛暑のなかでの体育指導は教職員の苦勞が多いと思う。体育館もある程度冷やせれば授業が出来るということなので、ぜひ進めてもらいたい。

基本的方向		2 安全・安心で良好な教育環境の整備
施策		15 教職員がいきいきと教育活動に取り組める環境づくり
総合計画政策体系	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	2 安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	1 安全で快適な学校施設の整備
事業概要及び実施状況		○事業概要 教職員の働き方改革推進の一環として、教員に代わって資料作成や授業準備、学校行事・式典等の準備補助等を行うスクール・サポート・スタッフを配置する。 ○実施状況 ・学級数標準（12学級）以上の天明小、植野小、界小、犬伏小、城北小、田沼小、あそ野学園義務教育学校（前期課程）、南中、北中には1日あたり6時間勤務のスクール・サポート・スタッフを各1名、合計9名配置した。 ・上記以外の15校には、1日あたり3時間勤務のスクール・サポート・スタッフを12名配置した。 ○事業費 【歳出】 ・総事業予算…47,091,000円（小：35,517,000円、中：11,574,000円） ・配置人数…小学校（義務教育学校含む）16人、中学校5人 ・歳出内訳 *報酬、職員手当…36,104,741円（小：27,517,471円、中：8,587,270円） *共済費…5,471,373円（小：4,062,290円、中：1,409,083円） *旅費……749,491円（小：597,726円、中：151,765円） 【歳入：17款 県支出金】 ・教員業務支援員配置事業費補助金 9,813,000円
考察		スクール・サポート・スタッフが全校に配置されることで、これまで教員が一人で実施してきた業務を分担することが可能となり、教員の負担減、児童と向き合う時間の増加につながった。
委員からの意見		・教員の負担を減らすため、スクール・サポート・スタッフが率先して動けるようになると良いと思う。

基本的方向		2 安全・安心で良好な教育環境の整備
施策		12 安全を守り、学びを保障する取組の推進
総合計画政策体系	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	2 安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	3 地域ぐるみで行う児童生徒の安全対策の充実
事業概要及び 実施状況		○事業概要 I C T（情報通信技術）を利用して情報の共有を図り、開かれた学校づくりや児童生徒の安全確保を図る。 ○実施状況 ・学校安全情報メール（さくら連絡網） 使用料：488,400円 登録者数：9,234人（R5 9,149人） 保護者登録率：99.7%（R5 99.3%） 配信数：6,508件（R5 5,266件） 保護者からの欠席連絡等にも活用 ・学校 Web サイトの運用 Open School CMS（株式会社 内田洋行） 6月まで：使用料458,040円 →契約更新費用が高額であったため新システムに移行 edumap（教育のための科学研究所）（4月から） →使用料：edumap 側で精査した絵本や児童書などの広告表示により 無料
考察		・学校安全情報メール（さくら連絡網）については、ほとんどの保護者が登録し、安全情報のほか、各種通知なども配信したり、欠席の連絡にも活用したりするなど、活用が進んでいる。 ・学校 Web サイトについては、これまで使っていたシステム（Open School CMS）の更新費用が高額であったため、4月から新システム（edumap）に移行したが、平成30年度まで使用していた NetCommons の後継システムのため、混乱なくスムーズに移行できた。
委員からの意見		・新しい Web システムを導入し、有効に活用することは重要だと考えている。 ・システムを利用することによって、教員・保護者の双方が、子ども達の状況をより的確に把握できるようになると思うので、ぜひ導入・活用を進めていただきたい。

基本的方向3 教育を支える地域づくりの推進

施策16 「地域とともにある学校づくり」への体制整備の推進

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
コミュニティ・スクール 導入学校数	1校	1校	1校	2校	11校	18校	教育総務課
地域コーディネーター数	28人	29人	39人	39人	38人	38人	生涯学習課

施策17 地域との連携・協働のための取組の推進

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
学校支援ボランティア 登録者数	778人	899人	908人	1,118人	1,133人	1,000人	生涯学習課

施策18 家庭教育支援の推進

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
家庭教育推進講座及び家 庭教育出前講座参加者数	44人	156人	171人	126人	67人	780人	生涯学習課

基本的方向		3 教育を支える地域づくりの推進
施策		16 「地域とともにある学校づくり」への体制整備の推進
総合計画政策体系	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	2 地域とともに学び育てるまちづくり
	施策	2 教育を支える地域づくりの推進
	基本事業	3 地域の教育力を活かす取組
事業概要及び実施状況		○事業概要 佐野市教育委員会が指定した学校に、学校評議員を一步進めた学校運営協議会委員を順次配置し、当該校の学校運営方針等の達成のために必要な支援に関する協議を行う。 学校と地域が連携・協働して課題解決に向け取り組むことで、地域とともにある信頼される学校づくりを推進する。 ○実施状況 義務教育学校2校と小学校Aグループ9校に学校運営協議会を設置して、学校運営協議会委員を76名任命し、学校運営に関する協議を行い、委員からの意見や協力を学校運営に活用した。 そのほか、総合的な学習やキャリア教育における支援、読み聞かせ、ふるさとウォークの企画運営などを実施し、希望する学校へはCS（シーエス）アドバイザーを派遣し、学校運営協議会の進め方に助言を行った。 また、令和7年に導入する小学校Bグループ7校に対しては、CSアドバイザーによる委員候補者対象の研修、令和8年度に導入する中学校6校に対しては、CSマイスターによる教職員対象の研修（3回）、ボランティア対象の研修（1回）をそれぞれ実施した。 ※CSマイスター；導入しようとする教育委員会や学校等に対してきめ細かな支援や助言を行う。コミュニティ・スクールの導入や実践経験を有する元校長等の教育関係者に委嘱している。 ※CSアドバイザー；コミュニティ・スクールにおける地域と学校の連携・協働を推進する役割を担う。学校運営協議会の活動をサポートし、地域住民や保護者と学校との連携を深めるための助言や支援を行う。
考察		導入前に研修を実施し、計画どおりにコミュニティ・スクールの導入を進めた。導入後の学校においては、より円滑な運営のため、CSアドバイザーを派遣し、学校運営協議会に対して支援を行っているが、議事録などで確認したところ、まだ改善の余地が見られるところもあるため、地域とともにある学校を目指すため、継続した支援が必要と考える。
委員からの意見		・今後統合が進む学校に対し、改めて学校運営協議会が設置される場合、CSマイスター、CSアドバイザーによって適切に、手厚く指導していただきたい。

基本的方向		3	教育を支える地域づくりの推進																						
施策		18	家庭教育支援の推進																						
総合計画政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり																						
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり																						
	施策	2	教育を支える地域づくりの推進																						
	基本事業	2	家庭教育支援の推進																						
事業概要及び実施状況		○事業概要 子どもを持つ保護者を対象に子どものしつけ、健康指導、栄養指導等の家庭教育についての講演会を開催し、学習の機会を提供する。 また、園、学校や企業等へ出向き、家庭教育に関する講座（ワークショップ）を開催し、全ての保護者に対し家庭教育について学習する機会や悩みを解決する機会を提供する。 ○実施状況 ・家庭教育推進講座「わくわく子育て教室」 家庭教育に関するワークショップを、5歳～8歳（年長・小学1年生～3年生）程度の子どものとその保護者を対象に実施した。 <table><tr><td>期日</td><td>会場</td><td>人数</td><td>内容</td></tr><tr><td>3/8</td><td>城北地区公民館 ホール</td><td>31</td><td>講演「明日からの子育てをがんばるために～音と音楽で心をリフレッシュ～」</td></tr></table> ・家庭教育推進出前講座「わくわく子育てお出かけ教室」 令和6年度の講座は小学校で合計 2 回実施し、参加者人数の合計は 36 人であった。 <table><tr><td>期日</td><td>会場</td><td>人数</td><td>内容</td></tr><tr><td>7/10</td><td>栃本小</td><td>31</td><td>やる気 UP・元気 UP・学力？UP</td></tr><tr><td>2/7</td><td>多田小</td><td>5</td><td>楽しい小学校生活のために</td></tr></table>				期日	会場	人数	内容	3/8	城北地区公民館 ホール	31	講演「明日からの子育てをがんばるために～音と音楽で心をリフレッシュ～」	期日	会場	人数	内容	7/10	栃本小	31	やる気 UP・元気 UP・学力？UP	2/7	多田小	5	楽しい小学校生活のために
期日	会場	人数	内容																						
3/8	城北地区公民館 ホール	31	講演「明日からの子育てをがんばるために～音と音楽で心をリフレッシュ～」																						
期日	会場	人数	内容																						
7/10	栃本小	31	やる気 UP・元気 UP・学力？UP																						
2/7	多田小	5	楽しい小学校生活のために																						
考察		・音楽をテーマとした家庭教育推進講座については、音楽を通じて感じる親子や友人同士の繋がりが子どもの安心感を生み、心の豊かさに作用するという内容で、参加者からは参考になったとの声が多かった。 インターネット上での申込み受付を実施したため、子育て中の方も夜間などご自身の好きなタイミングで申込みができたのではないかなと思う。 ・家庭教育推進出前講座については、教育現場での新型コロナウイルスによる影響が薄れる中、実施は 2 回となった。働き方改革なども相まって、保護者の集まる機会・時間の減少傾向が強まっており、講座開催に向けてどのような働きかけを行うか検討していきたい。																							
委員からの意見		・家庭教育は、幼児・子どもの教育の原点であり大変重要である。大切な事業だと思うので、今後も力を入れて実施してもらいたい。 ・家庭教育推進出前講座は、就学時健康診断や 1 日入学の時などに予定を合わせて実施できると良いと思う。1 箇所でも多くできるような工夫をしてもらいたい。																							

基本的方向		3 教育を支える地域づくりの推進																																																																									
施策		18 家庭教育支援の推進																																																																									
総合計画政策体系	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり																																																																									
	政策	2 地域とともに学び育てるまちづくり																																																																									
	施策	1 生活を豊かにする生涯学習の推進																																																																									
	基本事業	1 学習情報及び場の提供																																																																									
事業概要及び実施状況		○事業概要 親と子のふれあい活動での様々な体験活動を通して、子どもの情操を豊かにし、心身の健全な育成を図り、親子のきずなを深めるための講座を開催した。これにより、参加保護者同士の連帯感を高めるとともに、家庭及び地域の教育力の向上を図った。 対象：5歳～8歳（年長～小学3年生）とその保護者 実施日時：土曜日・日曜日 午前9時30分～午前11時30分 ○実施状況 中央公民館と田沼中央公民館において6回ずつ、合計12回開催し、延べ328人の参加があった。 <table><tr><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">実施日</th><th colspan="3">参加者数(延べ)</th></tr><tr><th>親</th><th>子</th><th>計</th></tr><tr><td>開講式 レッツエンジョイパドル体操</td><td>6月8日(土)</td><td>11</td><td>13</td><td>24</td></tr><tr><td>開講式 レッツエンジョイパドル体操</td><td>6月22日(土)</td><td>13</td><td>17</td><td>30</td></tr><tr><td>色で遊ぼうパステルアート</td><td>7月28日(日)</td><td>15</td><td>20</td><td>35</td></tr><tr><td>色で遊ぼうパステルアート</td><td>8月4日(日)</td><td>12</td><td>15</td><td>27</td></tr><tr><td>押し花で万華鏡を作ろう</td><td>9月7日(土)</td><td>15</td><td>20</td><td>35</td></tr><tr><td>押し花で万華鏡を作ろう</td><td>9月14日(土)</td><td>9</td><td>12</td><td>21</td></tr><tr><td>羊毛フェルトでハロウィングッズを作ろう</td><td>10月19日(土)</td><td>13</td><td>16</td><td>29</td></tr><tr><td>羊毛フェルトでハロウィングッズを作ろう</td><td>10月26日(土)</td><td>13</td><td>17</td><td>30</td></tr><tr><td>親子でクリスマスハーバリウムを作ろう</td><td>11月9日(土)</td><td>11</td><td>14</td><td>25</td></tr><tr><td>親子でクリスマスハーバリウムを作ろう</td><td>11月16日(土)</td><td>14</td><td>18</td><td>32</td></tr><tr><td>音楽で楽しもう 閉講式</td><td>12月15日(日)</td><td>11</td><td>12</td><td>23</td></tr><tr><td>音楽で楽しもう 閉講式</td><td>12月22日(日)</td><td>8</td><td>9</td><td>17</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>145</td><td>183</td><td>328</td></tr></table> ※中央公民館、田沼中央公民館の順で実施	学習内容	実施日	参加者数(延べ)			親	子	計	開講式 レッツエンジョイパドル体操	6月8日(土)	11	13	24	開講式 レッツエンジョイパドル体操	6月22日(土)	13	17	30	色で遊ぼうパステルアート	7月28日(日)	15	20	35	色で遊ぼうパステルアート	8月4日(日)	12	15	27	押し花で万華鏡を作ろう	9月7日(土)	15	20	35	押し花で万華鏡を作ろう	9月14日(土)	9	12	21	羊毛フェルトでハロウィングッズを作ろう	10月19日(土)	13	16	29	羊毛フェルトでハロウィングッズを作ろう	10月26日(土)	13	17	30	親子でクリスマスハーバリウムを作ろう	11月9日(土)	11	14	25	親子でクリスマスハーバリウムを作ろう	11月16日(土)	14	18	32	音楽で楽しもう 閉講式	12月15日(日)	11	12	23	音楽で楽しもう 閉講式	12月22日(日)	8	9	17	合 計		145	183	328
学習内容	実施日	参加者数(延べ)																																																																									
		親	子	計																																																																							
開講式 レッツエンジョイパドル体操	6月8日(土)	11	13	24																																																																							
開講式 レッツエンジョイパドル体操	6月22日(土)	13	17	30																																																																							
色で遊ぼうパステルアート	7月28日(日)	15	20	35																																																																							
色で遊ぼうパステルアート	8月4日(日)	12	15	27																																																																							
押し花で万華鏡を作ろう	9月7日(土)	15	20	35																																																																							
押し花で万華鏡を作ろう	9月14日(土)	9	12	21																																																																							
羊毛フェルトでハロウィングッズを作ろう	10月19日(土)	13	16	29																																																																							
羊毛フェルトでハロウィングッズを作ろう	10月26日(土)	13	17	30																																																																							
親子でクリスマスハーバリウムを作ろう	11月9日(土)	11	14	25																																																																							
親子でクリスマスハーバリウムを作ろう	11月16日(土)	14	18	32																																																																							
音楽で楽しもう 閉講式	12月15日(日)	11	12	23																																																																							
音楽で楽しもう 閉講式	12月22日(日)	8	9	17																																																																							
合 計		145	183	328																																																																							
考察		・コロナ後、令和4年度からは、全ての講座を開催することができた。 ・今までの参加状況や活動内容を振り返り、より充実したものになるよう工夫改善している。 （令和4年度実績 講座回数：12回 延べ参加人数：361人） （令和5年度実績 講座回数：12回 延べ参加人数：291人）																																																																									
委員からの意見		・親子で活動することは子育てにも役立つと思う。ぜひ頑張っていたきたい。																																																																									

基本的方向 4 生活を豊かにする生涯学習の推進

施策 19 生涯学習の情報や機会の提供

【成果指標】

年度 指標	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)	主管課
生涯学習課ホームページ へのアクセス数	42,330 件	34,659 件	32,647 件	33,184 件	25,335 件	81,000 件	生涯学習課
生涯学習施設の利用者数	349,056 人	457,382 人	625,802 人	743,438 人	671,660 人	1,010,000 人	生涯学習課

施策 20 生涯学習の成果を活かす取組の充実

【成果指標】

年度 指標	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)	主管課
生涯学習ボランティア (楽習講師等) 登録者数	339 人	332 人	273 人	309 人	311 人	450 人	生涯学習課

施策 21 青少年の健全育成の推進

【成果指標】

年度 指標	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)	主管課
体験的学習・研修会の参 加人数	コロナ禍 のため 未実施	50 人	87 人	65 人	92 人	165 人	生涯学習課
学習活動実施団体が企画 した事業の参加者数	42 人	35 人	47 人	180 人	206 人	800 人	生涯学習課

事業名 社会教育指導員設置事業

課名：生涯学習課

基本的方向		4	生活を豊かにする生涯学習の推進												
施策		19	生涯学習の情報や機会の提供												
総合計画政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり												
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり												
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進												
	基本事業	1	学習情報及び場の提供												
事業概要及び実施状況		○事業概要 生涯学習課及び各公民館に社会教育指導員を設置し、生涯学習・社会教育に関する事業の企画運営や学習相談、社会教育関係団体の育成等、社会教育の充実・活性化を図る。 ○実施状況 ・配置人数 5名（生涯学習課社会教育係1名、中央公民館・犬伏地区公民館・城北地区公民館・田沼中央公民館各1名） ※他に、社会教育指導員（人権教育）設置事業で、生涯学習課社会教育係に2名を配置 ・実施内容 年間を通して各種事業の企画運営や、社会教育関係団体の育成を図った。 <table><tr><td>配置場所</td><td>開催講座、育成団体</td></tr><tr><td>生涯学習課社会教育係</td><td>佐野市PTA連合会</td></tr><tr><td>中央公民館</td><td>ゆうゆう人生応援塾、中央趣味講座</td></tr><tr><td>犬伏地区公民館</td><td>犬伏うるおいセミナー、趣味の講座</td></tr><tr><td>城北地区公民館</td><td>城北セミナー、趣味の講座</td></tr><tr><td>田沼中央公民館</td><td>ふるさと創生セミナー、趣味の講座</td></tr></table>		配置場所	開催講座、育成団体	生涯学習課社会教育係	佐野市PTA連合会	中央公民館	ゆうゆう人生応援塾、中央趣味講座	犬伏地区公民館	犬伏うるおいセミナー、趣味の講座	城北地区公民館	城北セミナー、趣味の講座	田沼中央公民館	ふるさと創生セミナー、趣味の講座
配置場所	開催講座、育成団体														
生涯学習課社会教育係	佐野市PTA連合会														
中央公民館	ゆうゆう人生応援塾、中央趣味講座														
犬伏地区公民館	犬伏うるおいセミナー、趣味の講座														
城北地区公民館	城北セミナー、趣味の講座														
田沼中央公民館	ふるさと創生セミナー、趣味の講座														
考察		豊かな経験を有する社会教育指導員が、指導・相談・育成等に当たることにより、市の社会教育の振興が図られ、生涯学習の推進にも結びつくと考えられる。今後も社会教育指導員を設置し、社会教育の振興に努めていきたい。													
委員からの意見		・生涯学習の対象や内容は多岐にわたる。これから高齢者が増えてくる社会において、彼らが時間を有効に活用し、人生を楽しむためのシステムやプログラム、そして人生設計をサポートするような事業が必要だと思う。頑張っていたきたい。													

基本的方向		4	生活を豊かにする生涯学習の推進	
施策		19	生涯学習の情報や機会の提供	
総合計画政策体系	基本目標	4	豊かな心を育み、学び合うまちづくり	
	政策	2	地域とともに学び育てるまちづくり	
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進	
	基本事業	1	学習情報及び場の提供	
事業概要及び 実施状況		○事業概要		
		図書館の運営に関し教育委員会の諮問に応じるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、教育委員会に対して意見を述べる機関である図書館協議会を運営する。		
		○実施状況		
		・委員		
		15名（学校関係者2名、社会教育関係者5名、家庭教育関係者1名、学識経験者（図書館関係ボランティア等）7名）		
		・実施内容		
年2回の会議、図書館見学会を実施した。				
		期日	会議名	会議内容
		7/4	第1回佐野市図書館協議会	R6 図書館運営方針、事業実施計画、視聴覚ライブラリー事業計画について
		11/7	第2回佐野市図書館協議会	R5 図書館利用状況、視聴覚ライブラリー利用状況・受入資料について
		2/14	図書館見学会	・図書館等指定管理事業評価について ・評価のための図書館事業・利用者アンケートの結果説明、葛生図書館見学
考察		委員からは、図書館の運営に関すること、施設に関することなど様々なご意見・ご要望をいただいた。 ご意見・ご要望をもとに、指定管理者と連携しよりよい図書館運営を図っていきたい。		
委員からの意見		・図書館利用者が安心して利用できるように、今後も努力をしていただきたい。 ・利用しやすい施設の整備、読書環境づくりに努めてもらいたい。		

基本的方向		4 生活を豊かにする生涯学習の推進
施策		21 青少年の健全育成の推進
総合計画政策体系	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	2 地域とともに学び育てるまちづくり
	施策	1 生活を豊かにする生涯学習の推進
	基本事業	3 青少年の健全育成
事業概要及び実施状況		○事業概要 中学・義務教育学校・高校生を対象にボランティア研修会を開催し、子どもに関わるボランティア体験活動の機会を提供する。 ○実施状況 <研修内容・日程・開催場所> 1. ボランティアについて学ぼう①（参加者42名） 4月21日(日) 13:30～ 中央公民館 ・オリエンテーション ・ボランティアとは ・危険予知トレーニング 2. ボランティア実践「こどもフェスティバル」（参加者48名） 5月5日(水・祝) 8:30～ こどもの国 3. ボランティアについて学ぼう②（参加者23名） 6月23日(日) 12:00～ 佐野駅前交流プラザぱるぽと ・佐野駅周辺の清掃活動 ・「能登半島地震」災害派遣講話 4. レクリンピック企画・準備（参加者22名） 9月22日(日) 9:00～ 中央公民館 5. ボランティア実践「レクリンピック」（参加者25名） 10月20日(日) 8:30～ こどもの国 6. 活動の振り返り（参加者31名） 11月10日(日) 9:00～ 城北地区公民館 ・特別講話 ・これまでの活動振り返り ・修了証授与 ・講師からのメッセージ
考察		・こどもの国の支援活動を実施し、ボランティアを実際に体験する機会を作ることができた。また、能登半島地震の災害派遣講話を実施することにより、研修生の知識や意識を高めることができた。 ・ボランティア体験の事業は他の団体等でも行っているが、この事業の特色である子どもを対象とした活動であることや活動内容を参加者が考えるということや中学・義務教育学校・高校生に知らせ、参加者増を図りたい。
委員からの意見		・子ども達が、ボランティアとはどういうものなのかを認識することは大切なことである。これから様々な分野でボランティア活動は必要になると思うので、良いボランティアを育てるきっかけになるよう、この事業を推進してほしい。

事業名 街頭補導実施事業

課名：生涯学習課（少年指導センター）

基本的方向		4	生活を豊かにする生涯学習の推進																																																											
施策		21	青少年の健全育成の推進																																																											
総合計画政策体系	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり																																																											
	政策	1	安全で安心して暮らせるまちづくり																																																											
	施策	2	交通安全・防犯・消費者対策の推進																																																											
	基本事業	3	防犯意識の高揚と防犯体制の整備・充実																																																											
事業概要及び実施状況		○事業概要 佐野市教育委員会が委嘱した少年補導員で、市内の公園やゲームセンター、大型ショッピングセンター等を巡回し、補導活動を行う。 ○実施状況 ・少年補導員数 64人 ・21班体制（少年補導員・市職員3人～4人の班） ・週1，2回実施 ・時間帯は次のいずれかで実施 14：00～16：00、16：30～18：30、17：30～19：30 ・従事回数404回・延べ参加人数553人 ・現場注意指導148人、声かけ902人の実績があった。 【現場注意指導等人数の内訳】 <table><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">指導</th><th colspan="2">声かけ</th><th colspan="2">合計</th></tr><tr><th>R6年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>R5年度</th><th>R6年度</th><th>R5年度</th></tr><tr><td>未就学児</td><td>2人</td><td>0人</td><td>1人</td><td>13人</td><td>3人</td><td>13人</td></tr><tr><td>小学生</td><td>25人</td><td>18人</td><td>305人</td><td>177人</td><td>330人</td><td>195人</td></tr><tr><td>中学生</td><td>90人</td><td>87人</td><td>286人</td><td>156人</td><td>376人</td><td>243人</td></tr><tr><td>高校生</td><td>22人</td><td>57人</td><td>262人</td><td>226人</td><td>284人</td><td>283人</td></tr><tr><td>その他</td><td>9人</td><td>2人</td><td>48人</td><td>0人</td><td>57人</td><td>2人</td></tr><tr><td>合計</td><td>148人</td><td>164人</td><td>902人</td><td>572人</td><td>1,050人</td><td>736人</td></tr></table>						区分	指導		声かけ		合計		R6年度	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度	R5年度	未就学児	2人	0人	1人	13人	3人	13人	小学生	25人	18人	305人	177人	330人	195人	中学生	90人	87人	286人	156人	376人	243人	高校生	22人	57人	262人	226人	284人	283人	その他	9人	2人	48人	0人	57人	2人	合計	148人	164人	902人	572人	1,050人	736人
区分	指導		声かけ		合計																																																									
	R6年度	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度	R5年度																																																								
未就学児	2人	0人	1人	13人	3人	13人																																																								
小学生	25人	18人	305人	177人	330人	195人																																																								
中学生	90人	87人	286人	156人	376人	243人																																																								
高校生	22人	57人	262人	226人	284人	283人																																																								
その他	9人	2人	48人	0人	57人	2人																																																								
合計	148人	164人	902人	572人	1,050人	736人																																																								
考察		巡回補導で声掛けすることにより青少年の非行の早期発見、未然防止を図っている。今後も補導回数や補導内容を検討しながら、青少年の健全育成に努めていきたい。																																																												
委員からの意見		・青少年の健全育成のためには、親も遊技場など巡回するような場所を見て、色々考えていくと良いと思う。事業は今後も適正に努めてもらいたい。 ・街頭補導の巡回時に、もし子ども達が人に親切にしたり、良いことをしている所を見かけた場合には、褒めたり励ましたりするなど、注意喚起の視点だけではなく声掛けなどを含めて、今後街頭補導を実施してもらえると良い。																																																												

基本的方向5 スポーツへの参画の推進と次世代アスリートの育成

施策22 生涯スポーツの基礎づくりの推進

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
総合型地域スポーツクラブの会員数	2,778人	1,047人	1,204人	1,236人	1,694人	2,950人	スポーツ推進課

施策23 次世代アスリートの育成の推進

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
関東、全国大会等に出場する個人と団体	12	35	294	310	156	130	スポーツ推進課
市スポーツ指導者登録制度への登録者数	—	—	97人	111人	110人	60人	スポーツ推進課

基本的方向6 文化芸術活動の推進

施策24 文化芸術に触れる機会の充実

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
学校訪問事業等実施数	2校	7校	15校	22校	13校	21校	文化推進課

施策25 文化資源の有効活用

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
市内の文化財、郷土芸能を知っている割合（天明鋳物）	69.4%	69.3%	72.5%	72.9%	74.2%	77%	文化推進課

施策26 文化芸術施設の基盤強化

【成果指標】

年度 指標	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	主管課
文化芸術施設利用者数	39,474人	79,068人	150,860人	189,563人	67,388人	225,000人	文化推進課

基本的方向 7 歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用

施策 27 歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承・活用

年度 指標	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)	主管課
指定文化財の維持管理、 保存修復対策件数	43 件	48 件	48 件	46 件	48 件	47 件	文化財課

施策 28 歴史・文化資源や豊かな自然への理解促進と人材育成

年度 指標	令和 2 (2020)	令和 3 (2021)	令和 4 (2022)	令和 5 (2023)	令和 6 (2024)	令和 7 (2025)	主管課
小・中・義務学校の学校 利用、出前講座での児童 生徒数	2037 人	3556 人	4086 人	3494 人	3689 人	4250 人	文化財課

基本的方向		7 歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用
施策		27 歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承・活用
総合計画政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり
	政策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり
	施策	2 歴史・文化資源の保存と継承
	基本事業	1 歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承
事業概要及び実施状況		○事業概要 本市を代表する歴史・文化遺産である国指定史跡「唐沢山城跡」を良好な状態で未来に伝えるため、長期的な保存管理と活用・整備を目指した取組みを行う。 ○実施状況 ・保存整備調査指導委員会を3回開催したほか、事業の進捗に応じて自然(植生)や石垣、地盤等の各分野の専門委員の個別指導(4回)を仰ぎ、指導・助言を得た。 ・本丸の南及び東側を対象として石垣カルテを作成した。また、令和5年度に作成した二の丸の石垣カルテをもとに予備診断を行った。 ・視点場(南城)西方からの眺望を確保するため樹木の伐採・剪定を行った。 ・令和元から4年度にかけて実施した本丸虎口の石垣解体修理工事及びそれに伴う発掘調査に係る『史跡唐沢山城跡保存整備報告書Ⅰ』を発行した。 ・史跡の維持管理として、本丸・二の丸等の史跡内の主要な石垣について年間を通じて定期的に点検や清掃を行った。また、夏・秋季に城跡の西麓(栃本側)根小屋の除草を行った。 ・唐沢山城跡の国指定史跡化10周年を記念して、(公財)佐野市民文化振興事業団と共催により佐野市郷土博物館での企画展「戦国時代を生き抜いた佐野氏と唐沢山城」(開催期間中の入館者3081人)を開催し、関連事業として根小屋屋敷跡特別公開(参加者300人)を実施した。 ・ボランティア団体である史跡唐沢山城跡保存会の活動(史跡の環境維持やガイド)の支援を行った。
考察		・令和5年度から着手した石垣カルテについては管理台帳であるとともに、保存整備に向けた基礎資料ともなることから、史跡の全ての石垣を対象として計画的に実施する必要がある。 ・10周年記念事業を実施したところ、上記のとおり多くの入館者等を得ることができたが、今後も史跡の価値や魅力について、多くの方々へ情報が届くように普及啓発活動を強化する必要がある。
委員からの意見		・より多くの方に情報が届くように、今後も積極的な啓発活動をしてもらいたい。 ・唐沢山城の特別公開のようなものがあると良いと思う。

基本的方向		7 歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用
施策		27 歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承・活用
総合計画政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり
	政策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり
	施策	2 歴史・文化資源の保存と継承
	基本事業	1 歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承
事業概要及び 実施状況		○事業概要 市内における文化財の適切な保存活用を促進するための各種の施策を展開する。 主な内容は下記のとおり。 ・市指定史跡や天然記念物等の草刈り、清掃作業等の維持管理 ・埋蔵文化財包蔵地内の開発行為に係る指導・協議及び試掘・確認調査や記録保存調査の実施 ○実施状況 ・市指定史跡の草刈り・清掃作業等の維持管理 - 葛生人骨出土跡の駐車場清掃委託（通年実施） - 赤見城跡の草刈業務委託（6月・9月） - 佐野城跡の犬走草刈（8月） - 指定文化財案内看板修繕（10月） - 葛生人骨出土跡・石灰谷焼窯跡の草刈委託（10月） - 木浦原のザゼンソウ群落の草刈・清掃の実施（10月・2月） - 赤見城跡クビアカツヤカミキリ被害木伐採（1月） ・開発行為に伴う埋蔵文化財保護の指導・協議 - 埋蔵文化財包蔵地に関する照会に対する回答（通年） - 文化財保護法に基づく発掘届出の県への進達等事務（通年） - 前年度実績の集計（5月）
考察		・埋蔵文化財包蔵地の毀損はなかった。 ・佐野市の伝統文化や文化財を大切にしたいと思う市民の割合は増加した。（「市政に関するアンケート」より R5 87.7% → R6 89.6%）
委員からの意見		・文化財の保存継承は重要なことだと思う。佐野市の伝統文化や文化財を大切にしたいと思う市民の割合は増加しており、市民の認識が向上したのは良いことである。これからも努力してほしい。

基本的方向		7 歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用															
施策		28 歴史・文化資源や豊かな自然への理解促進と人材育成															
総合計画政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり															
	政策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり															
	施策	2 歴史・文化資源の保存と継承															
	基本事業	2 歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進															
事業概要及び実施状況		○事業概要 テーマ毎に掘り下げて知的好奇心を刺激し、収蔵品や他館から借用し企画展を実施する。 ○実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>展 示 会 名</th><th>期 間</th><th>入館者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 18 回新着標本展</td><td>4/1～4/14</td><td>515 人</td></tr> <tr> <td>「生き物がつくる鉱物の話」展</td><td>7/13～11/24</td><td>11,992 人</td></tr> <tr> <td>第 19 回新着標本展</td><td>1/18～3/31</td><td>4,133 人</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>186 日</td><td>16,640 人</td></tr> </tbody> </table> ・「第 18 回新着標本展」は、令和 4 年度後半から令和 5 年度前半までの間に寄贈された標本を展示紹介した。開催日数 12 日間。 ・「第 19 回新着標本展」は、令和 5 年度後半から令和 6 年度前半までの間に寄贈された標本を展示紹介した。開催日数 59 日間。 ・「生き物がつくる鉱物の話」展は、生き物がつくる「鉱物」でできた硬い殻や骨などのいろいろな「鉱物」を展示紹介した。開催日数は 115 日間。 ・年間 3 回の企画展を開催し、開催日数 186 日間、入館者数 16,640 人、1 日平均 89 人であった。	展 示 会 名	期 間	入館者数	第 18 回新着標本展	4/1～4/14	515 人	「生き物がつくる鉱物の話」展	7/13～11/24	11,992 人	第 19 回新着標本展	1/18～3/31	4,133 人	合 計	186 日	16,640 人
展 示 会 名	期 間	入館者数															
第 18 回新着標本展	4/1～4/14	515 人															
「生き物がつくる鉱物の話」展	7/13～11/24	11,992 人															
第 19 回新着標本展	1/18～3/31	4,133 人															
合 計	186 日	16,640 人															
考察		・企画展の入館者数は 16,640 人で前年度より 4,548 人増加したが、「広報さの」に佐野の化石特集が掲載されたことや、佐野市観光協会主催事業に協力した事による増加と思われる。 ・今後も親しみやすく、化石や自然科学に関心を持ってもらい、より多くの方に足を運んでもらえるような企画展を開催していきたい。															
委員からの意見		・学芸員が頑張っており、化石館を訪れた子ども達が目を輝かせている。これからも良い企画展をたくさん開催してほしい。															

基本的方向		7 歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用
施策		28 歴史・文化資源や豊かな自然への理解促進と人材育成
総合計画政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり
	政策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり
	施策	2 歴史・文化資源の保存と継承
	基本事業	2 歴史・文化資源の理解の促進と地域づくりの推進
事業概要及び実施状況		○事業概要 郷土博物館において、運営の効率化、新視点での企画・展示及び柔軟で充実した職員配置を実現することにより、来館者の増加や魅力度の向上を図るため、令和5年度から指定管理制度を導入した。 ・指定管理者：（公財）佐野市民文化振興事業団 ・指定期間：令和5～7年度（3年間） ○実施状況 ①R6 来館者数 17,444 人（R5 は 19,270 人） ②博物館の運営体制 博物館専任の館長等 3 人のほか、2 人が兼任しバックアップしている。 ③企画展（次の4展を開催） 春…佐野の遺跡展 【4/27～6/30(56 日間)に開催し、入館者数 4,381 人】 夏…佐野の天明鋳物生産用具及び製品展 【7/27～9/1(32 日間)に開催し、入館者数 1,918 人】 秋…戦国時代を生き抜いた佐野氏と唐沢山城 【10/5～12/8(56 日間)に開催し、入館者数 3,081 人】 冬…くらしのうつりかわり～古い道具と昔のくらし～ 【1/4～3/2(49 日間)に開催し、入館者数 3,875 人】 ④記念講演会 「佐野市内の縄文遺跡」 講師 亀田幸久氏（栃木県埋蔵文化財センター職員） 【5/25 に開催し、参加者 56 人】 「唐沢山城と城下の空間構成について」 講師 浅野晴樹氏（唐沢山城跡保存整備調査指導委員会座長） 【10/12 に開催し、参加者 63 人】 『佐野家文書』豊臣政権期と江戸時代初期の武家文書 講師 荒川善夫氏（元栃木県立博物館特別研究員） 【11/2 に開催し、参加者 63 人】 「中世佐野の築城技法からみた唐沢山城」 講師 宮武正登氏（佐賀大学教授） 【11/24 に開催し、参加者 118 人】

	⑤各種講座（次の講座を開催） 古文書入門、縄文ペンダント作り、民話、人形劇ワークショップ、まが玉作り、県立博物館見学、立体切り折り紙、石材の印作り、火起こし体験、展示解説ボランティア養成講座 ⑥学校利用（市内全小学校・義務教育学校の3・4・6年生を対象に実施） ・3年生対象「くらしのうつりかわり」 【827人（32クラス）参加】 ・4年生対象「郷土につくした人々」 【850人（33クラス）参加】 ・6年生対象「歴史学習」 【872人（33クラス）参加】
考察	指定管理後の郷土博物館の運営は、来館者に丁寧な対応を心掛け、企画展・常設展示、各種講座、学校利用等においても、わかり易く興味を持ってもらえるような内容となっており、指定管理制度導入の成果が現れている。
委員からの意見	・指定管理者制度の導入以降、博物館が魅力的になってきたと感じる。これからもなお一層努力してほしい。 ・スタッフには郷土の文化に関し貴重な知識を有している方がいるので、いろいろ企画してほしい。

事業名 天明鋳物生産用具保存継承事業

課名：文化財課

基本的方向		7 歴史・文化資源、豊かな自然の継承と活用
施策		27 歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承・活用
総合計画政策体系	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり
	政策	3 歴史・文化を守り育てるまちづくり
	施策	2 歴史・文化資源の保存と継承
	基本事業	1 歴史・文化資源の調査と適切な保存・継承
事業概要及び 実施状況		○事業概要 ・国重要有形民俗文化財に指定された「佐野の天明鋳物生産用具及び製品」のお披露目のための展示会を実施するとともに、劣化した生産用具を計画的に修繕する。 ○実施状況 ・7/27～9/1 郷土博物館で「佐野の天明鋳物生産用具及び製品展」を開催 【入館者数 1,918 人】 ・8/10 佐野市中央公民館で国指定化を記念した講演会を開催 【入場者数 50 人】 講師：若林秀真氏(天明鋳物伝承保存会 副代表) 篠崎茂雄氏(栃木県立博物館 学芸部長) ・通年 天明鋳物生産用具の保管場所の検討のため、先進地の事例等の調査を行った。
考察		・展示会及び講演会を通して、市民に「生産用具」が国指定になったことを知っていただくとともに、実物を見ていただく機会を提供することができた。 ・「生産用具」は、県立博物館に寄託し適切に保管しているが、暫定的であるため、市内での保管場所について、展示と活用の計画とあわせて、施設整備の検討を行う。
委員からの意見		・保管場所や展示場所を検討し、良い活用方法を模索してほしい。 ・他の自治体の取り組みを参考にさせていただくことによって、より効果的で興味深いものになると思う。

【その他事業】

事業名 小中学校スクールバス運行事業

課名：学校管理課

基本的方向		—
施策		—
総合計画政策体系	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	2 安全で安心して学べる教育環境の整備
	基本事業	3 地域ぐるみで行う児童生徒の安全対策の充実
事業概要及び 実施状況		○事業概要 小中学校の遠距離通学の児童を対象として、スクールバスの運行を行う。また校外学習の際、市内及び隣接する市町を運行範囲としてバスで送迎を行う。 ○実施状況 運行状況（利用者数は令和6年4月1日現在） <u>①「葛生義務教育学校」通常運行（通学送迎）</u> 運行路線：①氷室②牧・豊代③仙波・豊代④会沢⑤中 5路線5台、予備車両1台 利用者数：前期課程83人、後期課程31人、計114人 委託業者：大新東㈱ 契約額：94,538,400円（債務負担行為）、47,269,200円/年 契約期間：令和5年4月～7年3月（2年間） <u>「葛生義務教育学校」臨時運行（校外学習等送迎）</u> 事業内容：葛生義務教育学校通常運行（通学送迎）の空き時間にあそ野学園義務教育学校を除く市立小中学校の校外学習に活用 実施回数：運行件数227件、延べ351台（令和6年度） 主な行先：みかも自然の家（宿泊学習送迎）、郷土博物館、水道局、消防署など 委託業者：大新東㈱ 契約額：通常運行の契約額に含む。（年間、平日350回、土日祝日30回を想定） <u>②「植野小学校」通学送迎</u> 運行地区：船津川地区 1路線1台 利用者数：10人 委託業者：㈱八幡タクシー（本社：足利市） 契約額：11,092,950円 契約期間：令和6年1月～8年3月（27か月）

	③「あそ野学園義務教育学校」通学及び校外学習等送迎 委託業者持込による「特定学校（あそ野学園）の通学及び校外学習送迎」 運行地区：①飛駒・下彦間②閑馬・山形・戸奈良③山形・戸奈良（南回り）④野上、⑤船越農免道路、5路線11台、予備1台、時間で校外学習送迎 利用者数：前期課程211人、後期課程73人、計284人 委託業者：大新東㈱（本社：東京都調布市） 契約額：936,936,000円（債務負担行為）、133,848,000円/年 契約期間：令和2年4月～9年3月（7年間） 校外学習は別途、24,695円/1台・1回 実施回数：運行件数45件、延べ84台（令和6年度） ○事業費 【歳出】 ・総事業予算…202,103,000円（小：135,239,000円、中：66,864,000円） ・歳出内訳 *需用費…32,093円（車庫光熱水費） *役務費…83,725円（自動車保険料、車庫火災保険料） *委託料……190,739,365円（小：131,018,400円、中：59,720,965円） *使用料及び賃借料…220,700円（土地借上料） *公課費…391,000円（自動車重量税） 【歳入：16款 国庫支出金】 ・へき地児童生徒援助費等補助金 19,492,000円 ※補助金は令和6年度まで
考察	・学校の統廃合により遠距離通学となった児童生徒の通学手段として通学用バスを運行することで、委託業者との連絡を密に行うことで、大きな事故等も無く安全にバスを運行することができた。 ・通学用バスの空き時間を活用することで、多くの校外学習の機会の確保が可能となり、教育のさらなる充実を図ることができた。
委員からの意見	・スクールバス運行には多額の費用を要し、基準となる距離など難しいところもあるが、保護者が安心して子ども達を学校に通わせられるよう努力してほしい。

基本的方向		—
施策		—
総合計画政策体系	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	1 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	施策	1 特色ある教育と心の教育の推進
	基本事業	2 教育力の向上
事業概要及び 実施状況		○事業概要 教職員の資質と指導力の向上を図るために教育センターを運営し研修会や会議、事業を展開する。 ○実施状況 ・施設の貸出 研修会・会議等の回数：117回 利用人数：延べ3,750人 ・施設の修繕や清掃・警備・各設備等の保守点検 改修工事：2階廊下窓枠改修工事 2,420,000円 修繕料：消防設備修繕（誘導灯等）、水洗トイレ修繕、ガラス修繕等 958,562円 委託料：施設清掃（窓・床1回/年）、施設警備、消防設備保守点検等 1,027,213円 ・施設管理のための光熱水費や電話料等の支払い 燃料費：240,776円 光熱水費：1,986,998円 ・資料作成等の印刷機、コンピュータ等の借上げ・維持 使用料及び賃借料：251,386円 ・教育研修センター運営上必要な事務用品や消耗品、備品の購入 消耗品費：407,684円 ・事務員・労務員人件費 会計年度職員：事務員（週3日勤務）1名、労務員（週2日勤務）1名 育休補助（週4日）1名 報酬・給料、諸手当、共済費、通勤費等：6,781,518円 ・その他：通信費、保険料、公用車（2台）維持管理等
考察		・研修会や会議のオンライン化も進んでいるが、利用者は年々増加している。今後もニーズに合った研修内容や、参加しやすい実施方法を検討し、改善していきたい。 ・築後38年（一部46年）経過した建物であるが、利用者が安心安全に利用できるよう、施設の維持管理に努めていきたい。
委員からの意見		・教育センターは、学校ではできないような相談事などを効果的に解消しており、かなり有効であると感じている。

基本的方向		—
施策		—
総合計画政策体系	基本目標	4 豊かな心を育み、学び合うまちづくり
	政策	2 地域とともに学び育てるまちづくり
	施策	1 生活を豊かにする生涯学習の推進
	基本事業	1 学習情報及び場の提供
事業概要及び実施状況		○事業概要 市指定避難所である田沼中央公民館及び田沼地区公民館について、トイレ洋式化改修工事を行った。時代のニーズに合わせ、温水洗浄便座を採用した。 ○実施状況 ・田沼中央公民館トイレ洋式化改修工事 請負金額：20,251,000 円 工 期：令和6年9月2日～令和6年12月30日 請負業者：株式会社 ケイノ 改 修 前：男子トイレ…和式4台・洋式3台 女子トイレ…和式9台・洋式3台 障害者用トイレ…洋式2台 改 修 後：男子トイレ…洋式7台 女子トイレ…洋式12台 障害者用トイレ…洋式2台 (改修部分のみ抜粋) ・田沼地区公民館トイレ洋式化改修工事 請負金額：4,048,000 円 工 期：令和6年7月12日～令和6年10月9日 請負業者：有限会社 三和設備 改 修 前：男子トイレ…和式1台・洋式1台 女子トイレ…和式2台・洋式2台 改 修 後：男子トイレ…洋式2台 女子トイレ…洋式4台 (改修部分のみ抜粋)
考察		・改修によって、公民館利用者及び地域住民が、より安全で快適に利用できる施設となった。 ・今後も施設の適切な維持管理に努めたい。
委員からの意見		・多額の費用を要するが、快適性を向上させるためにトイレの洋式化について推進していただきたい。

基本的方向		—
施策		—
総合計画政策体系	基本目標	7 市民参加による自立したまちづくり
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり
	施策	1 市民と協働した地域づくりの推進
	基本事業	4 地域活動の充実
事業概要及び実施状況		○事業概要 市指定避難所である会沢地区コミュニティセンターについて、トイレ洋式化改修工事を行った。時代のニーズに合わせ、温水洗浄便座を採用した。 老朽化により故障が生じている山園地区コミュニティセンターの空調設備の購入を行った。 ○実施状況 ・会沢地区コミュニティセンタートイレ洋式化改修工事 請負金額：7,612,000 円 工 期：令和6年7月23日～令和6年11月19日 請負業者：有限会社 野部農機設備工業 改 修 前：男子トイレ…和式2台・洋式1台 女子トイレ…和式5台・洋式1台 改 修 後：男子トイレ…洋式2台 女子トイレ…洋式4台 (改修部分のみ抜粋) ・山園地区コミュニティセンター集会室の空調設備購入 購入金額：755,700 円 納入期限：令和6年7月31日 納 入 日：令和6年7月17日 納入業者：安藤電気 納入概要：ルーム壁掛けエアコン3台の購入 (既設エアコンの撤去及び新規エアコンの取付設置を含む)
考察		・改修によって、コミュニティセンター利用者及び地域住民が、より安全で快適に利用できる施設となった。 ・今後も施設の適切な維持管理に努めたい。
委員からの意見		・コミュニティセンターは非常時の避難場所の用途に活用されることがある。そういう時のためにも、施設をきれいに管理しておく必要がある。今後も適切な維持管理をお願いしたい。

5 全体を通しての意見

(1) 令和6年度点検・評価における委員意見から

事業名及び委員意見	担当課	各課の対応等
【部活動地域移行推進協議会運営事業】 ・連絡調整のためのコーディネーターを配置することで、地域移行による教職員の業務負担を最小限にして進めてほしい。	教育総務課	令和7年度は、部活動地域移行推進コーディネーターを1人から2人に増員しました。今後も教職員の業務負担を減らせるよう、運営団体・学校・教育委員会の連絡調整を図ってまいります。
【佐野西中学校区小中一貫校整備事業】 ・これから続く取組を着実に進めてきているので良い。 ・集団の中で社会性や規範意識を身につけさせることは重要であるので、一定の規模の児童生徒集団及び教職員集団が確保されることが望ましい。 ・教育機会の平等の観点から、小中一貫校の早期整備を希望する。	学校適正配置課	かえで義務教育学校以降も、確かな学力と豊かな人間性や社会性を育成する小中一貫校の整備を引き続き計画的に推進します。
【小中学校トイレ洋式化事業（R4年度繰越）】 ・屋外トイレが和式であるために使用できない子もいる。目標は達成したが引き続き洋式化を進めてほしい。 ・今は家庭のトイレもウォシュレット付きが一般的と思う。すべてのトイレに設置するには大きく改修を要するので、教師用トイレに設置して必要な子が使えるような体制も検討してほしい。	学校管理課	令和7年度は、学校等屋内運動場エアコン設置事業を優先的に実施するため、令和8年度より洋式化率が比較的低い学校から順次トイレ洋式化を進め学校のトイレ洋式化率を向上させていく予定です。
【子どもの郷土愛醸成事業】 ・子ども達の目線で書かれたガイドが面白い。学校の図書室や市立図書館などで多くの方に見てもらいたい。	学校教育課	令和6年度に佐野市立図書館でジモトガイドの展示会を開催した。ジモトガイドの冊子を展示するとともに、アプリ上で配信されている動画を見られるコーナーも設置し、興味関心を引くような工夫をした。10月25日（金）から11月25日（金）までの1か月間展示しました。
【日本語教室事業】 ・国内労働人口の減少から外国人労働者が増えると、その子ども達も増えるだろう。対応が難しいところもあるが、互いに異文化に触れる機会でもある。親子ともに本市に愛着をもっていただけのような取組、ICT機器の活用などの工夫を続けてほしい。	学校教育課	令和6年9月19日（木）に市内の日本語教室に通う児童生徒の交友を深めるために合同校外学習を実施しました。また、学校と外国人児童生徒及び保護者の連絡ツールとして、Etraノートや端末の翻訳機能を活用し、コミュニケーションを図ってきました。令和7年度からはさくら連絡網も多言語化対応となり、様々なツールを活用し、連絡が取り合えるように努めています。
【アクティブ教室運営事業】 ・学校に行けないということには様々な理由があると思う。その子にあった良い支援をできるだけ探してやってほしい。	教育センター	学校への登校に不安のある児童生徒を対象としたイベント企画「みんなのがくや」や教育相談員やスクールソーシャルワーカーによる個別支援の案内を相談啓発チラシや「さくら連絡網」を通して全児童生徒、保護者に通知し実施しています。

委員意見	担当課	各課の対応等
【教職員の働き方改革】 ・一朝一夕にできることではないが、努力して改善する必要がある。 ・効率を考えて、必要でないものは削減する方向で検討してほしい。	学校教育課	・共同学校事務室協議会との連携により、学校における様々な事務処理の効率化について日々努めています。 ・教職員の時間外勤務については、経年で減少傾向にあるので、次の段階として教職員のウェルビーイング向上に向けて環境づくりに励んでいます。（働きやすさ、働きがい）
【地域学校協働活動推進事業】 ・コミュニティ・スクールと対になる事業であり、地域の教育力向上に繋がる。役割を理解し活動を充実させていけるようなコーディネーターの量と質の確保をお願いしたい。	生涯学習課	地域コーディネーター向けの研修を安足教育事務所と連携して、年に4回実施しました。今年度も実施予定です。地域コーディネーターにつながる学校支援ボランティアについては、昨年度よりも15名（保険加入者）増加しました。さらに、今年度は、学校運営協議会にもオブザーバーとして参加することにより、地域コーディネーターの声を聞けるようにしています。
【放課後子ども教室推進事業】 ・放課後子ども教室と放課後児童クラブは同じような内容ではあるが、実際の管理は異なるため一体的な活用はもとより連携も難しいところがあると思われる。放課後子ども教室はだれでも参加できる活動なので、これを活用した交流を検討してほしい。 ・放課後に子ども達が安全で安心に過ごせる居場所を確保するよう努めてほしい。	生涯学習課	本市の待機型の放課後子ども教室は、活動終了後に放課後児童クラブへ行くため、対象学年のすべての児童が参加することができます。放課後の子ども達の安全・安心な居場所の確保のため、学校、こども課等と情報共有をしながら連携を図っていきます。
【生涯学習フォーラム開催事業】 ・安藤勇寿さんの講演は大変興味深かった。かつては分科会、楽習フェアなどもあったが、コロナ禍もあり縮小傾向となっている。内容を検討し、充実してやってもらいたい。	生涯学習課	令和7年3月の生涯学習フォーラムは、講師の対談相手を中学生にする等の新しい試みを行いました。今後も幅広い周知、内容の充実を図ってまいります。
【天明鑄物生産用具国指定推進事業】 ・保管場所も含め、展示活用できるような施設を検討してほしい。 ・閉校になった学校の跡地利用など、いろいろな方向から検討してほしい。	文化財課	R6は展示会及び講演会を通して、市民に「生産用具」が国指定になったことを知っていただくとともに、実物を見ていただく機会を提供することができました。 生産用具の保管につきましては、県立博物館に寄託し適切に保管されていますが、暫定的であるため、市内での保管について、展示と活用の計画とあわせて、施設整備の検討を行ってまいります。
【郷土博物館指定管理事業】 ・本物に触れられる機会は貴重なので、学校利用を進めてほしい。	文化財課	R6は市立小学校・義務教育学校全校の3、4、6年生が郷土博物館を利用しました。 R7につきましても同様に実施される予定です。

(2) 令和7年度点検・評価における委員意見

- ・施策3 健やかな体の育成に向けた教育の充実「新体力テストの平均得点の全国平均との比較」について
体力テストの数値にこだわらず、運動の習慣化や基本的な生活習慣への取り組みを進め、体力向上に努めてもらいたい。
- ・施策15 教職員がいそいそと教育活動に取り組める環境づくり「時間外在校等時間の平均」について
少しずつ改善されていると思うが、教職員が忙しいとゆとりがなくなってしまうので、今後も進めていただきたい。